あいの風とやま鉄道 富山駅高架下の開発計画

資料５

西エリア（約874㎡）

◇ 開発主体：富山ターミナルビル(株)

◇ ナショナルチェーンを中心に地元客も観光客も気軽に立ち寄りやすい店舗構成を計画

・店舗面積＝500㎡程度

・想定店舗構成：ファーストフード、カフェ、麺類など

◇ ＬＲＴ待合スペース等の機能を集約し、滞留と賑わいの生まれるゾーンとして計画

※イメージパース

中央エリア（約194㎡）

◇ 開発主体：あいの風とやま鉄道(株)

◇ 在来線改札口に隣接し自由通路が交差する立地条件や東エリアへの利用者の誘引を踏まえ、利用者にとって利便性が高い店舗構成を計画

・店舗面積＝180㎡程度

・想定店舗構成：コンビニエンスストアなど

※イメージパース

東エリア（約1,346㎡）

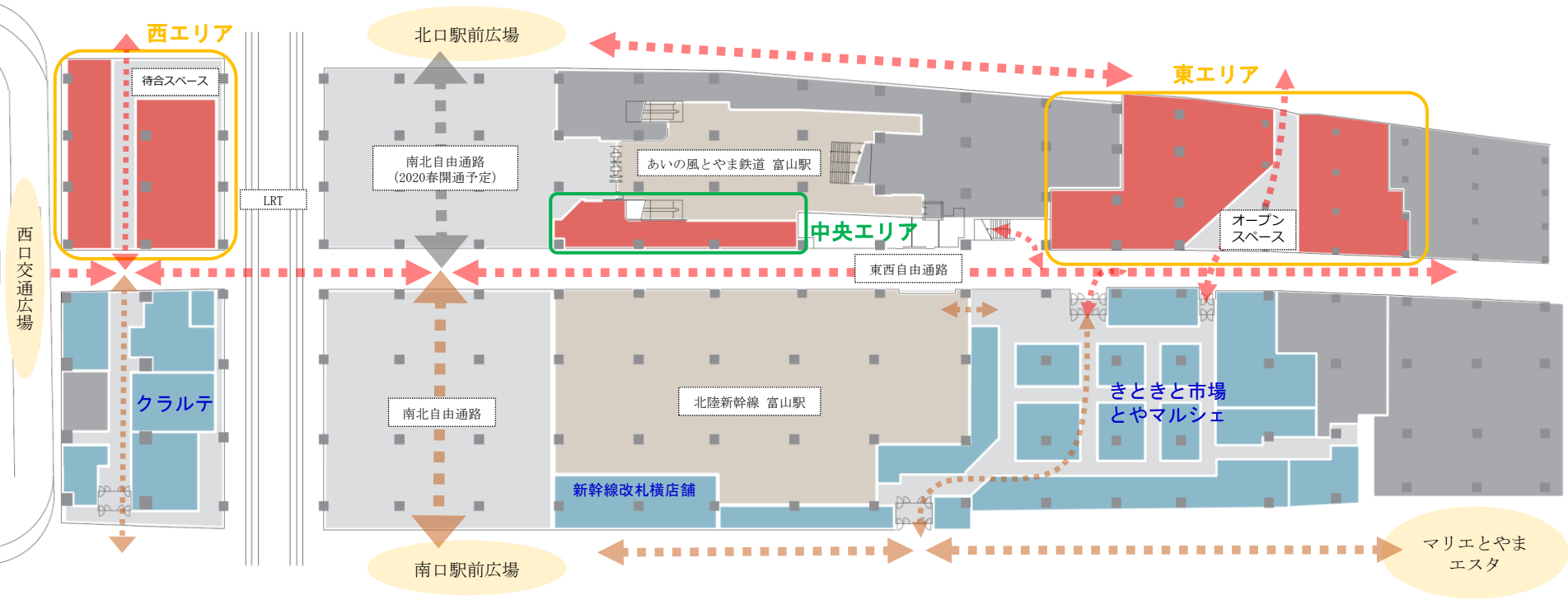
◇ 開発主体：富山ターミナルビル(株)

◇「富山らしい食」と「普段使いできる食」の双方を備えた「富山の魅力ある食材を提供する」飲食ゾーンを中心に計画

・店舗面積＝890㎡程度

・想定店舗構成：居酒屋、和食、洋食、麺類、ベーカリーなど

・富山県内資本店舗を店舗数で７割以上、面積で６割以上を計画

◇「とやマルシェ」など既存店舗との買い回りなど利用者動線も踏まえたオープンスペースを配置

※イメージパース